



人間力を豊かに育む教育の充実
～地域社会を担うグローバル人材の育成～を目指しています。

ICTの活用

本校では、学習支援クラウドサービスを活用して基礎学力の定着から進学指導まで支援しています。校内にWi-fi環境を整備し、学校所有のタブレット端末を活用しています。タブレット端末は様々な授業内での活用だけでなく、生徒が自宅にいないがらのオンライン授業や、小田高版・起業家教育プログラム内でのシリコンバレーとの遠隔授業にも利用されています。



在校生の声



松森 美羽
(2018年度入学)

私は小田高に入って、とても成長することができたと思っています。なぜなら、小田高では「自分の意見をほかの人に伝える」という機会がとても多いからです。小田高にはグループに分かれてテーマに沿った話し合いをする「オダカン」という行事があり、その中で自分の意見を相手に分かりやすく伝えるにはどうすればいいのか考え、学ぶことができます。最初は私自身も意思表示することがとても苦手で、正直とても緊張していました。しかし、このような機会を何度も経験させてもらうことで、日頃から自分の意思を相手に伝えようと思えるようになりました。自分の思いが相手に伝わって納得してもらったり、共感してもらったときはとても嬉しいです。

小田高は地域の方とのつながりがとても深く、授業では外部講師の方がたくさん来ていただきます。たくさんの方と話すことで自分の視野も広がりました。話すことが得意な人も苦手な人も、ぜひ小田高に来てたくさんの方と意見交換することの大切さや楽しさを知ってほしいです。

保護者の声



山本 勝利さん
(2019年度 PTA会長)

私の子どもは3人とも、この学び舎を卒業しました。在学中は先生方や地域の方には物心両面で大変よくしていただき、己に自信と誇り、そして目標を持って、胸を張って卒業することができました。先生方には、子どもが勉強や部活動、進路のことなどで迷った時には、優しく丁寧に指導いただき、まるで実の父母のように親身に相談に乗っていただきました。また、子どもに年の近い先生には兄弟のような距離から、多感で難しい時期の子どもたちの心を的確に把握し、導いていただきました。辛い時も目配りや声掛けをしてくださったので、学校生活をとても安心して楽しく過ごせたようです。小田分校は少人数で、学校全体が家族のようなアットホームな学校です。大会や運動会、文化祭などの学校行事には地域の多くの方に応援、ご参加いただき、生徒たちに勇気と自信を与えていただきました。この環境で過ごした3年間、立派に成長した我が子の姿を目にしたとき、思わず胸が熱くなり「この学校で良かった」と心から思えました。ここで培われた自信と誇りは、子どもたちにとって、かけがえのない一生の財産となり、卒業後の人生の基本となるものと固く信じてやみません。

進学した卒業生の声



永居 泰成
(2017年度入学)
松山大学 文学部
英語英文学科

私は中学生の頃から英語という分野にとても興味があり、もっと英語についての知識を増やしたいと思い、大学進学を考えました。

試験対策では担任の先生に協力いただき、学校で夜遅くまで勉強しました。また、それぞれの科目の先生にマンツーマンで指導していただき、自分の苦手な克服し、自信をつけていただきました。私は進路実現において本当に先生に助けていただき、小田高校に入学して良かったと改めて強く感じました。

学校生活では最前線の授業に加え、起業家教育プログラムというものが、たくさんの方と近い距離でコミュニケーションを深めながら、社会に出る際に必要な能力を高めることができました。他学年との交流が多いのも小田高の魅力です。

小田高校では人の暖かさを感じ、様々な面で自分も成長できました。大学でもっと自分自身を高めていきたいと思っています。

就職した卒業生の声



大鍋 勲太
(2017年度入学)
株式会社製作所

私は大阪府にある塚谷刃物製作所で働いています。私は高校に入学した時から就職を希望していました。この会社を選んだ理由は、人の役に立てる仕事ができると思ったからです。塚谷ではシールや封筒、段ボール、スマートフォンなどの液晶画面等、身近にある幅広い種類の製品の製造に使われる刃物を作っています。身の回りにある製品の製造に関わることで多くの人の生活の支えとなることにとてもやりがいを感じています。社会に出てからはほとんどが新しい経験です。

学校の授業で習うようなものがそのまま使えるかといえばそうではありません。しかし、その授業の中ではものごとを学ぶ力や考える力、話を聞く態度が身に付きます。部活では体力や精神力、勉強と部活動の両立のために時間的使い方が身に付きます。学校生活に一生懸命取り組めば将来必ず役に立ちます。小田分校は少人数ながらも工夫した授業形態、また各行事に力を入れていて、一人一人に役割があり輝ける、そんな小田分校で学べることが多いと思います。



小田分校公式HPは、こちらのQRから！

O-DIARY (小田分校の日常)
毎日更新中！
<http://oda-hesnet.ed.jp>

愛媛県立内子高等学校 小田分校

〒791-3502 愛媛県喜多郡内子町寺村978番地
TEL (0892)52-2042 FAX (0892)52-4020

はじめました。

小田分校

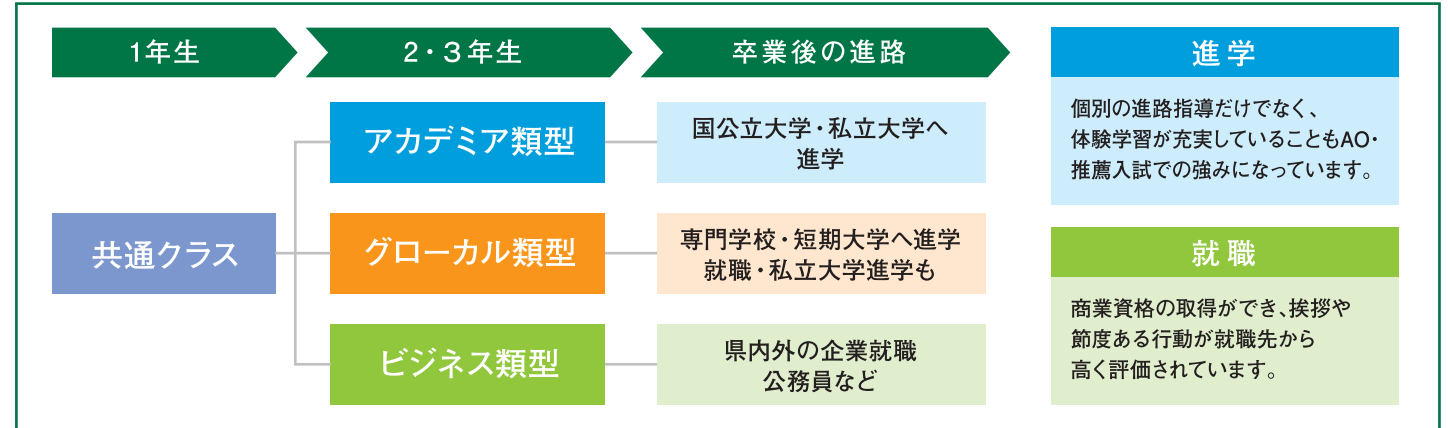
愛媛県立内子高等学校 小田分校
2020年 学校案内



本校は令和2年度より
愛媛県立内子高等学校小田分校として
スタートしました。

希望進路を実現する3コース

小田分校は小規模校でありながら、生徒の多様な希望進路に対応すべく、3つのコースを設置しています。就職希望者から国立・公立大学への進学を目指す生徒まで多種多様なニーズに応えられるよう、3コースに分かれての少人数授業の他、資格試験や模擬試験の実施、徹底した個別指導を実施しています。その結果、毎年国立・公立大学への進学者を輩出しながら、希望者の進学率・就職率100%を実現しています。



4年制大学

愛媛大学 徳島文理大学
香川大学 河原電子ビジネス専門学校
鹿児島大学 広島経済大学
高知工科大学 広島国際大学
高知工業大学 日本理科大学
尾道市立大学 尾道大学
松山大学 福山大学
法政大学 立命館大学
立命館大学 神戸大学
近畿大学 進学大学院

専門学校

河原医療専門学校 河原電子ビジネス専門学校
松山歯科衛生士専門学校 四国医療技術専門学校
今治看護専門学校 河原アイベットワールド専門学校
愛媛県立農業大学校 広島ビューティ&ブライダル専門学校
尾道市立大学 穴吹動物看護カレッジ専門学校
愛媛県立高等技術専門学校 日本工学院専門学校
高知医療学院 愛媛十全医療専門学校

就職

丸三産業株式会社 医療法人聖久会アングロ
伊予岐道株式会社 株式会社ナガセ
株式会社セマルトモ株式会社
株式会社茶研 株式会社新風
株式会社新風 社会福祉法人広寿会ひらた
株式会社OCファーム 株式会社藤原利業
大森産業 株式会社四国運輸

進路先過去5年間

過去5年間の進路状況

大学 27.6%
就職 47.1%
専門学校 25.3%

小田分校 15の魅力

小田分校は、全日制・普通科の小規模校で、小田川のほとりの自然豊かな落ち着いた環境の中にあります。小田高生は規律正しい行動を身につけながら、それぞれが目標を持ち、勉学と部活動、学校行事に全力で取り組み、充実した高校生活を送っています。

小田分校には、小さな学校だからこそ、この環境だからこそできることがたくさんあります。

特色ある授業 04

小田分校では独自の「起業家教育プログラム」や学校設定教科「探究」の授業を実施しており、現代に求められる主体的・対話的で深い学びを実現しています。

【起業家教育プログラム】

- 「ふるさと小田—未来への創生—」を全体テーマに、総合的な探究の時間に実施
- 全プログラムにおいて、各学年のテーマに基づいた外部講師を招致
- 起業家精神(探究心・創造性等)と起業家の資質・能力(サーバント リーダーシップ・コミュニケーション能力等)を育成

【小田校独自の学校設定教科「探究」】

- 「内子町のまちづくり」を教科書に学ぶふるさと探訪学・創生学」
- 自らの興味・関心に基づき、課題発見・解決に取り組む「プロジェクト学習1・II」



幅広い進路に対応したコース 08

小田分校では2・3年生に3つのコースを用意し、進路実現をサポートしています。高校卒業後就職を目指すビジネス類型、専門学校や短期大学なども含め、就職から進学まで幅広い進路に対応するグローバル類型、主に国立公立大学進学を目指すアカデミアタイプの3つに分かれ、それぞれに必要な学習を進めます。選択科目の授業は、希望者が1人でもいれば開講されるため、小規模校だから学べる科目が少ないという心配はいりません。



学年	科目	英語	数学	理科	社会	体育	芸術	総合	職業	その他
1年生	英語(Ⅰ)	数学(Ⅰ)	物理	化学	歴史	体育	音楽	総合(Ⅰ)	キャリア教育	探究
2年生	英語(Ⅱ)	数学(Ⅱ)	物理	化学	地理	体育	音楽	総合(Ⅱ)	キャリア教育	探究
3年生	英語(Ⅲ)	数学(Ⅲ)	物理	化学	地理	体育	音楽	総合(Ⅲ)	キャリア教育	探究

小田地域とのかかわり 12

小田分校は地域とのかかわりが多く、地域の人や企業が講師となって行う授業や、地域のお祭りへの参加、小田幼稚園・小田小学校とのふれあいなど、たくさん交流があります。そのため普段から教員や保護者だけでなく、地域の人たちも生徒たちを見守り、応援してくれる風土が根付いています。

学校だけでなく、地域全体で生徒一人一人のチャレンジを応援してくれる、そんな温かい雰囲気です。



少人数の学校生活 01

小田分校は1学年1〜2クラスの小規模校です。人数が少ない分、友達・先輩後輩、教員と生徒の距離が近くアットホームな雰囲気です。元気の良い挨拶から始まり、挨拶で終わる一日。教室は笑顔と笑い声で溢れています。学校行事や地域と連携したイベントも、生徒全員が主役。誰でも必ず活躍できる場があります。

たった一度の高校生活、あなたも主役になってみませんか？



新しくなった制服 05

今年度から小田分校となり、制服がリニューアルしました！黄色のリボンとネクタイが目印のプレザータイプの制服です。女子もストラップとネクタイを選べます。夏季は男女ともに紺色のポロシャツも選択できます。



第36回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト

主催：全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会
後援：文部科学省・公益財団法人日本国際連合協会

取得できる資格

- (英語) 全国商業高等学校協会主催 英語検定試験
- (英語) 実用英語技能検定試験
- (国語) 日本漢字能力検定(商業)
- 情報処理検定
- 簿記実務検定
- 珠算・電卓実務検定
- ビジネス実務検定



将来役立つ資格の取得 09

就職希望者向けのビジネス類型やグローバル類型では、商業科目の授業を通して、情報処理検定、簿記実務検定などの資格取得を目指せます。また、日本漢字能力検定や実用英語技能検定など大学受験に役立つ資格の取得もできます。令和元年度には本校の生徒が、全国商業高等学校英語スピーチコンテスト愛媛県大会(レシテーションの部)で最優秀賞を受賞し、全国大会に出場しました。小田分校では、資格試験やコンテストなど、生徒のチャレンジを学校全体で応援しています。

自然豊かなキャンパス 02

小田の春は、朝。山々の緑に映える桜吹雪のグラウンド。朝日を浴びつつ、小田校体操する新入生も、いとうつくし。小田の夏は、夜。澄み渡る空気と満天の星。灯籠祭りの明かりも、をかし。また、祭りの稽古に動む子らも、いとをかし。小田の秋は、夕暮れ。学び舎に射す夕日も、あはれなり。部活動を引退し、己と戦う受験生の背中で、たのもの。小田の冬は、つとめて。真白き雪の美しさは言ふまでもあらず、スキー教室、いと楽し。いざ、共に行かん。



きれいな体育館と広い野球場 06

新体育館が完成し、地元の木をふんだんに使った体育館で体育の授業や部活動ができるようになりました。体育館には武道場も併設され、校庭にはテニスコートもあります。野球部は、校庭ではなく、実際の試合にも使われる、町営の広い球場(城の台公園)で練習ができます！



進路実現率100% 10

3つのコース開設や様々な資格取得へのサポートだけでなく、進路目標の設定から受験対策・面接対策を一人一人個別指導も行っています。その結果、毎年国立公立大学への合格者を輩出し、進学率・就職率ともに100%となっています。また、1年生から、将来に向けて進路を考える機会を設けており、進路講演会や資料コーナーなど就職から進学まで幅広い情報の提供を行っています。小田分校の職員室前では進路相談に訪れる生徒の姿がよく見られます。



全員が活躍できる部活動 03

どの部に所属しても必ず活躍の機会があります。運動部ではみんなレギュラー！中学校では水泳部だった生徒が野球部員として夏の大会で活躍することも。小さい学校ながら、剣道部など全国大会に出場するような部もあります。

体育部	文化部	同好会
<ul style="list-style-type: none"> ●野球 ●ソフトボール ●バレーボール ●ソフトテニス 	<ul style="list-style-type: none"> ●吹奏楽 ●ふるさとデザイン ●地域共生 	<ul style="list-style-type: none"> ●茶道 ●華道



盛り上がる学校行事 07

授業や進路指導だけでなく、小田分校では学校行事にも力を入れています。体育祭や文化祭など、全校生徒だけでなく保護者、教員も一緒になって盛り上がるイベントや、小田高生全校会議「オダカン」など、学校生活を彩るイベントがあり、これらのイベントの様子を見て入学を決めた生徒も多いです。



小田だからできる！充実した体験 11

学校の周りには畑や森林が多くあり、小田分校がある内子町には重要文化財である内子屋、小田地区には紅葉の名所である小田山深川渓谷やスキー場があります。小田分校では授業や行事の中で、これらの資源を十分に活かした様々な体験をすることができます。



自律した生活ができる寮 14

学校から徒歩5分のところにある「小田寮」では、通学距離が遠くなる県内生や県外生が集団生活をしながら、家事などを一人で行い、自律した生活を高校生のうちから送ることが可能です。独立した一人部屋ですが、共用の集会室があり、プライベートの時間は確保しながら、食事や娯楽の時間は友人たちと楽しむことができます。

- 平日3食付き(土日・祝日・長期休業中は食事なし)
- 鉄筋コンクリート2階建て 1DK(一人部屋)
- 各部屋 バスト1付
- 寮費:月額26,700円(光熱費別途)
- 主な近隣施設
- スーパー徒歩3分(約0.3m)
- 郵便局・病院 徒歩20分(約1.5km)



小田出身生の声

私が入学した当初は小田県外からの生徒が来るなんて考えてもいませんでした。しかし、昨年度から全国募集を開始され、県外からの入学生を迎えられました。今年度から分校になりましたが、小田分校で「学びたい」「成長したい」と思っている方が地元の子以外にもいることを実感し、嬉しく思いました。また、県内外の小田出身ではない生徒たちが増えたことで、生徒一人一人が思いやりをもって生活できていると思います。各地から来た生徒に、小田分校、そして小田の良いところを知ってもらえるように、たくさんかかわっていきたくと思っています。



県内生の声

私は松山市から内子まで電車に乗り、そこからバスで小田分校に通学しています。通学時間はかかりますが、勉強したり音楽を聴いたりして、学校に着くまでに気持ちを書き留めることができます。中学校は全校生徒700人以上の大規模校でしたが、小田分校に入塾してみると、小規模校で人数が少ないため、一人一人が率先して動く必要があり、役割も与えられ、私のような消極的な生徒にも活躍の場を与えてくださいます。大規模校ではできないような経験を積むことで、自信をもち、自然と積極性も養われました。そんなところが小田分校のよいところだと思います。



県内外 各地から集まる生徒 15

小田分校は全国募集を行っており、地元出身の生徒だけでなく、愛媛県内の各地や県外からの生徒も在籍しています。高校時代に様々な出身地の友人たちと過ごすことで、幅広い友人関係を築くことができるだけでなく、視野が広がり、考え方や知識の幅も広がります。



県外生の声

僕が小田分校に入学を決めた理由は、一人部屋の寮があったからです。寮では基本的には一人で過ごすことができますが、食事や自習など、みんなで過ごす時間も多いので、寮生の同級生と仲良くなりました。寮で過ごしてみて、今までできなかった早起きや自習、料理や洗濯などの家事もできるようになりました。小田分校の人はとてもやさしく、少人数の学校生活も楽しめています。部活動も少人数なので、先輩や顧問の先生から丁寧に教えてもらえて、初心者でもだんだん上手になっていきます。小田分校がもっと盛り上がるために、県外生にももっと来てほしいと思っています。